

# ＜概要版＞調布市立中学校部活動地域連携・地域移行に関する推進計画

## 1 策定の目的

市立中学校における部活動に関する課題等を踏まえ、市の実態に合った地域連携・地域移行を実現するため、それぞれの取組の方向性を示すとともに、短期的な市の取組を示し、部活動の地域連携・地域移行の推進を図る。

## 2 計画の位置付け

- ▶ 計画期間は、前期調布市基本計画の計画期間と合わせ、令和8年度までとし、その間の具体的な取組と合わせ、今後の展望を示す。
- ▶ 令和9年度以降は、国や東京都等の動向を踏まえるとともに、後期調布市基本計画と整合を図り、計画を改定する。

年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
基本計画	前期基本計画 (R5～8年度)				後期基本計画 (R9～12年度)			
国・都	改革推進期間(R5～7)				今後の動向を注視			
本計画		前期(策定後～R8)			後期(R9～12)			

## 3 部活動の現状と課題

### 中学校数及び生徒数

市立中学校数8校、生徒数4,441人（令和6年4月1日現在）

### 部活動数、部員数等

年度	部活動数(部)			在籍生徒数(人)	部員数			参加率(%)
	運動部	文化部	合計		運動部	文化部	合計	
R4	79	44	123	4,456	2,456	1,373	3,829	85.9
R5	78	42	120	4,462	2,375	1,365	3,740	83.8
R6	78	46	124	4,441	2,284	1,309	3,593	80.9

### 休日の部活動の実態

- 「調布市立中学校に係る運動・文化部活動の方針」では、休日に部活動を行う場合は、**土曜日から日曜日のいずれかを休業日**とし、**1日の活動時間は原則3時間程度**と定めている。
- 休日に毎週活動している部活動の割合は、**運動部が約97%、文化部が約23%**

### 教員の実態

- 部活動を担当する教員の割合は、**顧問58%、副顧問28%**
- 部活動顧問のうち、専門的な技術指導ができる割合は、**運動部、文化部ともに約60%**
- 部活動の指導や運営により支障が生じている業務として、**教材研究が71.2%、生徒指導(補習や面談など)が50.3%**
- 休日の部活動が地域に移行された場合に、**地域人材に任せたいと回答した教員は58%、兼職・兼業をして引き続き指導したいと考えている教員は22%**

### 部活動の地域連携の状況

年度	部活動数	部活動指導員(会計年度任用職員)			部活動外部指導員(有償ボランティア)				
		配置部活動数	割合(%)	配置人数	活動時間数	配置部活動数	割合(%)	配置人数	活動時間数
R4	123	5	4.1	5	1,975	44	35.8	71	5,523
R5	120	17	14.2	18	5,788	35	29.2	68	5,711

### 生徒の意識

- 部活動の所属目的の回答数上位は、「**友達と楽しく活動できる**」「**体力や技術を向上させることができる**」「**大会・コンクール等でよい成績をえることができる**」(上位順)
- 部活動の地域移行への期待は、「**専門的な技術指導を受けることができる**」、「**他校の生徒との人間関係をつくれる**」など

## 4 市の目指す方向性

### 目指す将来像

「地域の子どもたちは、学校を含めた地域で育てる」という意識の下、調布の地域資源を活用した持続可能な地域クラブを整備することで、部活動を学校教育活動から地域に移行し、調布の子ども達が生涯にわたって地域の中で主体的に様々なスポーツ・文化芸術活動を楽しむことができるまちづくりが進められている。

### 推進目標

**令和9年度以降、可能な限り早期に、全ての休日部活動において地域連携か地域移行を実施し、生徒が地域人材等※による技術指導を受けられている。**

※ 兼職・兼業の届出により部活動指導を行う教員を含む。  
なお、当面は地域連携・地域移行の取組が併存するが、徐々に地域移行の取組を拡充させていく。

## 5 基本方針

### 方針1 地域におけるスポーツ・文化芸術活動環境の整備

- 生徒のニーズを踏まえたスポーツ・文化芸術活動環境の整備
- 部活動の地域移行を担う運営団体・実施主体の確保
- 地域クラブ活動の運営団体や学校、市関係部署等、関係者間の連携体制を整備

### 方針2 指導者の量の確保及び質の向上

- 運動部については、調布市スポーツ協会を中心に人材バンクの整備を検討
- 文化部については、指導者の確保に向けた仕組みづくりを検討
- 研修会の開催やガイドライン等の情報提供を通して、指導者や生徒、保護者が共通理解の下、ともに安心して活動に参加できる環境を整備

### 方針3 活動場所の確保

- 学校施設、市のスポーツ・文化施設等における活動時の取扱いを整理
- 地域移行に向けて、学校施設のセキュリティ対策を検討

### 方針4 地域クラブにおける費用負担等のあり方の整理

- 地域移行においては、受益者負担を前提として枠組みを検討
- 配慮が必要な世帯等への支援についても検討
- 生徒や指導者が適切な補償を受けられる仕組みづくり

### 方針5 部活動指導に対する教員の関わり方の整理

- 休日の部活動から段階的に教員が指導に携わらずに活動できる体制の構築
- 大会等のあり方の見直しがあった際には適時適切に対応
- 兼職・兼業の仕組みづくり

## 6 計画期間における主な取組

### ① 検討委員会の開催

- 市としての部活動地域連携・地域移行の在り方や仕組みづくりについて検討

### ② 情報発信

- 市の取組の方向性や進捗状況等の情報発信を通じた地域の理解促進

### ③ 地域連携に向けた取組

- 外部人材による指導の充実
- 合同部活動の実施による生徒の活動機会確保

### ④ 人材バンクの整備

- 調布市スポーツ協会を中心とした人材バンク制度の整備(指導者の量の確保)
- 研修等の取組の検討(指導者の質の確保)

### ⑤ 地域移行に向けた取組

- 地域クラブ活動のトライアル事業の実施及び効果や課題の整理・検証
- 地域移行における「調布モデル」の創出に向けた先行事例研究、全体のスキーム検討、必要な体制整備など(運動系部活動は調布市スポーツ協会を中心としてスキームを検討)

# 調布市部活動地域連携・地域移行に向けたロードマップ

## 【推進目標】

令和9年度以降、可能な限り早期に、全ての休日部活動において地域連携か地域移行を実施し、生徒が地域人材等による技術指導を受けられている。

※ 令和12年度から平日を含め全ての部活動において地域連携か地域移行を実施し、生徒が地域人材等による技術指導を受けられている。

目標：R9年度以降、可能な限り早期に、全ての休日部活動において地域連携か地域移行を実施

目標：R12年度以降、可能な限り早期に、平日を含む全ての部活動において地域連携か地域移行を実施

	項目	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
計画	調布市基本計画	前期基本計画（R5～8年度）			後期基本計画（R9～12年度）			
	本計画	前期計画（R6～8年度）			後期計画（R9～12年度）			
地域連携	外部指導者による指導	指導者の質・量の確保 ・外部人材による指導の拡充 ・部活動を指導する地域人材の確保（人材バンクの整備）			徐々に地域連携から地域移行へ 外部人材による指導の拡充（地域連携）を進めながら、徐々に地域クラブ活動への移行（地域移行）を促進していく。			
		【トライアル事業】合同部活動の実施 ・生徒の活動機会の確保に向けた合同部活動の実施（人数確保が困難な団体競技など） ・地域移行を見据えた事例創出，課題の洗い出し・整理						
地域移行	運営体制	【トライアル事業】地域クラブ活動のモデル実施 ・地域クラブ活動のモデル実施による課題抽出・分析			休日部活動の地域移行（可能な限り早期に）			
		地域移行「調布モデル」の検討・地域移行体制の整備 ・地域人材を確保・マッチングする仕組み ・運営団体の確保・創出の検討 ・費用負担のあり方整理 ・学校と地域の役割分担整理 など			具体的な運用整理 ・運営団体の整備 ・クラブの立ち上げ支援 ・クラブと学校のマッチング体制整備 など			平日の地域移行に向けた検討・体制整備
地域移行	施設	部活動時間の施設利用体制の検討 効率的な施設管理方法の検討		具体的な運用整理	休日の部活動時間の施設利用，教員が関わらないかたちでの施設利用・管理			
	教員の関わり方	兼職兼業の仕組み整理 部活動ガイドラインの整理		新たな枠組みの周知	休日の部活動への教員の関わりゼロ（希望する教員は兼職・兼業で地域クラブで指導）			
	財源	必要経費の算出 国・都などの助成金等		財源確保	財源確保			
		多様な財源獲得に向けた検討			受益者負担による持続可能な地域クラブの運営			